

進木

進木【すぎ】・・・『杉』の語源。ぐんぐんと上に向かって、まっすぐに進む木の様子。



2022年9月 発行

2学期が始まりました！

長いものの、毎年あつという間に過ぎていく夏休み、みなさんはどう過ごしましたか。心身ともにしっかりと充電して2学期を迎えることができましたか。異常気象がもはや日常になりつつあり、新型コロナウイルスの感染拡大が再び学校生活に猛威を振るい、ウクライナ侵攻が始まって半年が経とうとしてい中で戦後77年目を迎えた今年の8月15日、たくさんの事がみなさんの周りで慌ただしく動いています。どう向き合うべきか、そんなときこそ焦らず、まずは身の回りにある当たり前のことを丁寧にやり続けること、改めて「凡事徹底」が大切であると思います。

3年生は先日、第一回実力テストがありました。そして来週にはチャレンジテスト、再来週には中間テスト…と、いよいよ進路に向けて本格的に動き出す時期に入ります。1・2年生は新しい中学校生活やクラスにも慣れて、自分の力が学習面や部活動、学級活動や学校行事に全力で取り組むことができます。2学期も杉中生全員で成長し合える素晴らしい学校環境を作っていきます。

「ゆでガエルの法則」って知ってる？

突然ですが、みなさんは「ゆでガエルの法則」というのを聞いたことがありますか？
これは、「カエルはいきなり熱湯に入れると驚いて逃げ出すが、常温の水に入れて徐々に水温を上げていくと逃げ出すタイミングを失い、最後には死んでしまう。」というカエルの性質から生まれた法則です。
ただし、実際にはカエルを熱湯に入れると逃げ出す間もなく死んでしまい、常温から徐々に水温を上げていくと途中で逃げ出すそうです。
(けっしてマネをしないようにしてくださいね。)

では、なぜこのような法則ができたのかという個人や組織(学校ではクラスがクラブなどの集団)が陥りやすい失敗を的確に表現しているからだそうです。
人間は基本的に現状維持を好み、環境の変化を望みません。状況は刻々と変化しているにもかかわらず、「まだ大丈夫だろう」とぬるま湯(ゆ)につかっているうちに、周囲の状況が大きく変化して対応できなくなってしまうのです。では、どうしたらいいのでしょうか？今日やろうと思っていたけど…、明日からやろう！そう考えて行動を先延ばしにしてしまう自分。



そんな自分から少しの勇気を振り絞って、一歩チャレンジをしてみてください。
また、この法則にはもう一つの考えが隠れているのではないかと考えました。もし一歩チャレンジすることができたとき、はじめはそれを継続することがたいへんだけれど、しばらく続けていくとそれが当たり前になり、ふと気づいたときにその状況がぬるま湯に感じるのではないかと。そうするとさらにチャレンジ精神が生まれ、どんどん成長できるのではないかと。この法則にはそんな意味もあるのではないかと思っています。

1年間でもっとも期間が長いもののあつという間に過ぎていく2学期がスタートしました。一人一人が個性を存分に発揮して、大きく成長できる充実した日々を過ごしましょう。

【連絡事項】

1つ目です。

夏休み期間中に靴箱の配置が変わりました。みなさんのクツが雨風の影響を受けないように配慮した配置となっています。靴箱がきれいになりましたので、自分のクツは地面に置きっぱなしにするのではなく、しっかりと自分の靴箱に入れて大切に使いましょう。また、地面に置いていた「すのこ」を撤収しました。理由は以前から破損によるケガに加えて、靴箱の配置が新しく変わったことで「すのこ」が通路の妨げになってしまっているからです。靴箱のほかにもたくさんの場所で改修工事が実施されています。新しくなったときこそ、これから数十年と使用されていく杉中生のためにも大切に使用してください。

2つ目です。

一学期より、熱中症対策として実施して実施していた体操服による登校・授業は、杉中祭が終了したあとの10月7日(金)で終了となります。10月11日(火)より標準服(制服)での登校となります。まだ、1カ月ほど先になりますが、準備の方をよろしくお願いいたします。

